

市長の所信表明の要旨、代表質問 (1)

代表質問・一般質問の要旨

ここでは、市長の所信表明及び会派ごとに質問をする「代表質問」と無所属議員による「一般質問」の主な内容についてお知らせします。代表質問・一般質問の内容は、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。

市長の所信表明の要旨

はじめに 市政を運営するに当たっては、職員の士気と意欲を高めて、市役所を活気ある組織とするには、とても重要なことだ。 次世代への責任を果たそう 私は、多摩小平保健所長として、さまざまな課題と向き合ってきた。また、児童相談センター所長として、家族や本人からの相談に携わった。この経験から、虐待防止に徹底的に取り組む

たい。 また、子供や子育ての施策、働く女性への支援が重要であり、教育環境の整備をはじめ、待機児童の解消等に取り組んでいく。 もっと健康、もっと元気に 各種検診の検診率の向上のため、さらなる普及啓発を図るだけでなく、メンタルヘルスクエア(心の健康)の啓発に努め、「うつ」や自殺予防対策を推進したい。 災害に強い都市インフラ整備を進めよう 市民の生命・財産・生活

自由民主党西東京市議団 丸山新市長の政治姿勢と 選択と集中で行革を進め 持続可能なまちづくりを!

- 浅野 高司 浜中 のりかた 酒井 豪一郎 田中 のりあき 保谷 なおみ 稲垣 裕二 小林 たつや 遠藤 源太郎

西東京市の財政状況について

【質問】 本市の財政状況について、市長の認識を問う。 【答弁】 非常に厳しい認識を持っていて、財政調整基金の残高は、現時点では目標とする30億円台には遠く及ばない状況だ。

【質問】 市長が公約を実現するためには、当然財源が必要だ。まず行政改革を行い、財源確保のめどを立てることが最優先課題である。市長の覚悟について聞く。 【答弁】 未来の世代にツケを残さず将来に向けたまちづくりを着実に推進していくために、これまでの取り組み内容や実績を十分検証

【質問】 国保特別会計への繰入金については、平成26年度を期として、市長の見解を問う。 【答弁】 平成26年度を期とする次期総合計画は、現在「中間のまとめ」を取りまとめている最中であり、今後、市議会に示した後、市民説明会、パブリックコメントを実施する予定である。 【質問】 国保の広域化が視野に入っているが、一般会計繰出金と保険料を幾らにするか、将来ビジョンを問う。

【質問】 国保特別会計への繰出金は、平成25年度については暫定的に平成24年度並みとし、不足分を保険料の料率等の改定で補う。今後については、国保会計の広域化を視野に入れながら、社会保障制度改革国民会議の議論の動向など、国保を取り巻くさまざまな課題や状況を考慮し、国民健康保険運営協議会の意見も伺いながら、検討したい。 【質問】 老朽化した公共施設への対応方針と、類似施設の統廃合や機能統合を含めた、公共施設の適正配置について、市長の見解を問う。 【答弁】 公共施設の適正配置は、合併以来の最大の積み

【質問】 待機児童解消のためにはどのような解決策を考えているのか。定期利用保育制度をさらに充実すべきと考えるが、市長の見解を問う。 【答弁】 待機児童の数は引き続き厳しい状況にある。定期的利用保育の増設については、現時点では事業者からの要望がない。平成25年度から東京都では、空き家等を活用した小規模な保育所設置支援を開始する。 【質問】 「保健・医療・福祉の連携」とは具体的にどのようなことを指しているのか。 【答弁】 保健・医療・福祉における多職種の専門家がチームとなり、高齢になっても病気になることも、さまざまなサービスや多様な地域資源を生かし、包括的、継続的に支援していくための仕組みづくりを進める必要がある。市内8カ所の地域包括支援センターを中心に、地域住民のニーズに応じて保健・医療・福祉サービスを適切にコーディネートし、



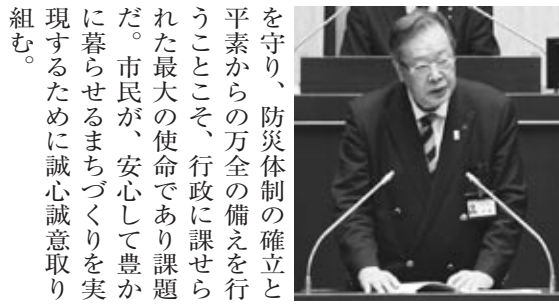
統合検討の対象となっている市役所田無庁舎(左)保谷庁舎(右)

残し課題と認識している。 厳しい財政状況や、約16kmという行政面積を踏まえ、今後更新期を迎える施設への対策を考えると、類似施設の統廃合や機能統合は喫緊の課題であると認識している。 【質問】 待機児童の解消に向けた取り組みについて

【質問】 待機児童解消のためにはどのような解決策を考えているのか。定期利用保育制度をさらに充実すべきと考えるが、市長の見解を問う。 【答弁】 待機児童の数は引き続き厳しい状況にある。定期的利用保育の増設については、現時点では事業者からの要望がない。平成25年度から東京都では、空き家等を活用した小規模な保育所設置支援を開始する。 【質問】 「保健・医療・福祉の連携」とは具体的にどのようなことを指しているのか。 【答弁】 保健・医療・福祉における多職種の専門家がチームとなり、高齢になっても病気になることも、さまざまなサービスや多様な地域資源を生かし、包括的、継続的に支援していくための仕組みづくりを進める必要がある。市内8カ所の地域包括支援センターを中心に、地域住民のニーズに応じて保健・医療・福祉サービスを適切にコーディネートし、

【質問】 橋梁については、平成24年度に点検調査を行った。平成25年度以降、修繕計画を策定していく。下水道の耐震化については、平成17年度に重要な幹線について耐震診断を実施し、管渠継手部及び強度については、耐震性能が確保されているとの結果を得ている。今後は、防災拠点と幹線を接続する管渠や緊急輸送道路に布設している管渠などについて、調査、整備計画の策定など、耐震化に向けて取り組んでいく。 【質問】 西武線の連続立体化への取り組みについて 【答弁】 鉄道の連続立体化事業は市民ニーズの高い施策だが、課題も多く、首長の取り組み姿勢が問われる。

【質問】 地方版子ども・子育て会議の設置について 【答弁】 地方版子ども・子育て会議の設置が義務化された。本市の取り組みは、子ども・子育て関連3法に対応した審議会を構成したい。



【質問】 待機児童解消のためにはどのような解決策を考えているのか。定期利用保育制度をさらに充実すべきと考えるが、市長の見解を問う。 【答弁】 待機児童の数は引き続き厳しい状況にある。定期的利用保育の増設については、現時点では事業者からの要望がない。平成25年度から東京都では、空き家等を活用した小規模な保育所設置支援を開始する。 【質問】 「保健・医療・福祉の連携」とは具体的にどのようなことを指しているのか。 【答弁】 保健・医療・福祉における多職種の専門家がチームとなり、高齢になっても病気になることも、さまざまなサービスや多様な地域資源を生かし、包括的、継続的に支援していくための仕組みづくりを進める必要がある。市内8カ所の地域包括支援センターを中心に、地域住民のニーズに応じて保健・医療・福祉サービスを適切にコーディネートし、

【質問】 橋梁については、平成24年度に点検調査を行った。平成25年度以降、修繕計画を策定していく。下水道の耐震化については、平成17年度に重要な幹線について耐震診断を実施し、管渠継手部及び強度については、耐震性能が確保されているとの結果を得ている。今後は、防災拠点と幹線を接続する管渠や緊急輸送道路に布設している管渠などについて、調査、整備計画の策定など、耐震化に向けて取り組んでいく。 【質問】 西武線の連続立体化への取り組みについて 【答弁】 鉄道の連続立体化事業は市民ニーズの高い施策だが、課題も多く、首長の取り組み姿勢が問われる。

【質問】 地方版子ども・子育て会議の設置について 【答弁】 地方版子ども・子育て会議の設置が義務化された。本市の取り組みは、子ども・子育て関連3法に対応した審議会を構成したい。